

神奈川特命子ども地域アクター養成アクション
第2回 かながわ子どもの地域社会参画推進会議
(神奈川県子どもの地域社会参画推進会議体会議から名称変更)

日時：平成24年2月24日（金） 20：00～21：00

場所：神奈川県青少年センター 2F 多目的プラザ

出席者	NPO 法人ミニシティ・プラス	理事長	三輪 律江
	NPO 法人ミニシティ・プラス	副理事長	岩室 晶子
	NPO 法人ミニシティ・プラス		森山 真稔
	NPO 法人ミニシティ・プラス		中 聡美
	NPO 法人ミニシティ・プラス		杉山 昇太
	神奈川県 県民局青少年部青少年課	企画グループリーダー	丸山 尚子
	神奈川県 県民局青少年部青少年課		鈴木 かおり
	NPO 法人 アクションポート横浜	学生スタッフ	富樫 愛美
	特定非営利活動法人教育支援協会		田中 靖子

(オブザーバー参加 横浜市立大学 西田、南條)

〈報告・承認事項〉

1. 事業説明会の報告 事業説明会 in 小田原・報告メモにて説明

・人数が少なかったため、1対1の対話のような説明会になった。まちづくり現場の方の質問では、中高生を迎え入れた事業のイメージがつかみにくいという意見や、まちづくり現場の団体全体が中高生の受け入れを認めるハードルが高いという意見があった。

→まちづくり現場の団体には中高生を受け入れられる事業を考案してもらおう。

その事業によってその団体へのフィードバックにも役立つのではないかな。

・中学校の教頭先生から県へ問い合わせがあった。

→ピンポイントで説明しに行くことも可能。調整を試みるようにする。

・まち探検ツアーに、他のまちの子どもが参加しチェックしてもらおう企画もいいかもしれない、という反応だった。

2. まちづくり現場募集について

特命子ども地域アクタープロジェクト現場募集チラシ（0224版）にて説明

・まちづくり現場募集のチラシは、赤を入れて相模原での説明会では差し替える。

・salesforceのページを活用して、子どものプロジェクトへの応募状況や、議事録などを共有する。

・応募用紙の事業の内容についての欄が、完成された案を書かなければならないようなイメージになっているので、書く方のハードルが高いのではないかな。既に内容が固まっている事業というイメージを与えると、子どもが企画段階から参加するという点において、本アクションの目的に合わない可能性もある。

→「事業」という名称を使わずに別の言葉で表現。ex)「何かやりたいことがあればお書きください」など

3. 内部イントラネット salesforce の使用方法

4. 次年度前半スケジュールの確定

来月以降のスケジュールは以下の通りである。(会場は一部未確定)

- ・ 3/28 (水) 18 時～@さくらワークス※推進会議のみ
 - (・ 4/15 (日) 13 時半～@神奈川県青少年センター※子ども会議のみ)
 - ・ 5/13 (日) 13 時半～@神奈川県青少年センター※子ども会議+推進会議 (合同)
 - ・ 7/8 (日) 13 時半～@神奈川県青少年センター※子ども会議+推進会議 (合同)
 - ・ 8/19 (日) 13 時半～@神奈川県青少年センター※子ども会議+推進会議 (合同)
- 9 月以降は未定。

5. 議事録公開について

本日以降議事録は web に公開する。議事録は会議体でチェックされた後に掲載される。

〈その他〉

1. 説明会での区役所関係者とのやり取りの中での印象で、区役所側ではすでに大枠が決まっているイベントにアクターに参加してもらいたい模様。その場合このプロジェクトの「子どもが企画する」ことに反しているのではないかとの懸念もあった。

→ヒアリングを丁寧におこなう必要がある。「子どもが企画」できるようなプランを提案できるよう区役所側に伝える必要がある。

2. 協力体のまちづくり現場同士の情報交換会などについて

いろは講座に来ていただくのはなかなか難しいが、それぞれの現場の意見交換は必要ではないか。

→6 月 24 日(日)顔合わせ会後に交流会。この情報はチラシにも掲載する。

以上。(文責・横浜市大、南條)